

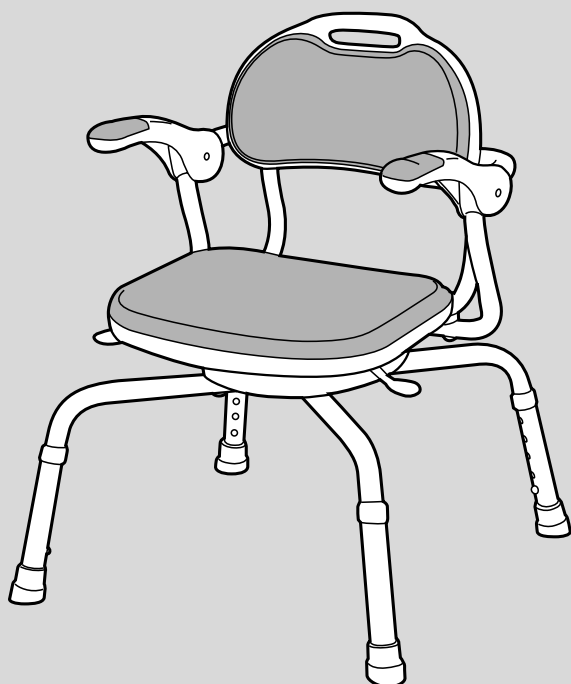


大切にしたい。
自立への気持ちと思ひやり。

ひじ掛け付シャワーベンチ まわるくん (回転タイプ) 取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下

このたびはひじ掛け付シャワーベンチ
まわるくんをお求めいただきまして、
まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前
に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管し
てください。



もくじ

| | |
|---------|-----|
| 安全上のご注意 | 1・2 |
| 各部のなまえ | 3 |
| 使いかた | 4・5 |
| お手入れの方法 | 6 |

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。



必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容を説明しています。



警告



改造や分解をしないこと
本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。



背もたれを支えにして、立ち座りしないこと
転倒し、けがの原因になります。

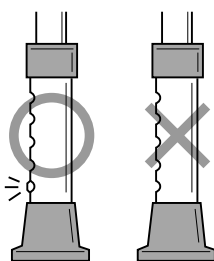


必ず強く平坦で安定した場所で使用すること
やわらかいマットやすのこ等の段差がある不安定な場所で使用すると転倒し、けがの原因になります。

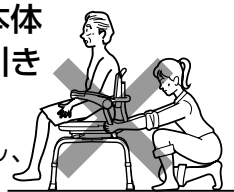
上体を後方に大きくのけぞり、背もたれに体重をかけすぎないこと
転倒し、けがの原因になります。



4本の脚部は全て同じ高さに設定すること
高さ調節用のプッシュボタンが確実に飛び出して固定されているか必ず確認すること
本体が不安定となり、転倒し、けがの原因になります。



人が座っている状態で、本体を持って移動させたり、引きずったりしないこと
本体が破損したり、転倒し、けがの原因になります。



本体を踏み台代わりにして、座面の上に立ったりしないこと
転倒し、けがの原因になります。



本製品を手すり代わりにして身体を支えたり、移動しないこと
転倒し、けがの原因になります。

片側のひじ掛けに手をつく場合、横方向に力をかけて支えたり、体重をかけすぎたりしないこと
転倒し、けがの原因になります。

ひじ掛けにお尻を乗せて支えにしないこと
ひじ掛けが破損したり、転倒し、けがの原因になります。



安全上のご注意

⚠ 注意

使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談すること

高さの設定などは、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談すること

使用前にネジのゆるみなど、各部に異常がないか定期的に点検し使用すること
本体が不安定となり、けがの原因になります。

使用前、使用後は床やベンチについた石鹸やシャンプーを洗い流すこと
足元や座面などがすべりやすくなり、転倒し、けがの原因になります。

ソフトパッドがしっかり固定されているか確認すること
転倒し、けがの原因になります。

立ち座り動作の前や着座中（回転を目的とする時以外）に、回転ロックが確実にかかっているか確認すること
座面が回転し、転倒やけがの原因になります。

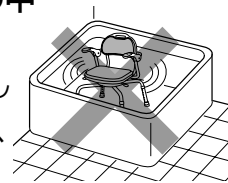
ひじ掛けを上げ下げする時に、手や指をはさまないように十分注意すること
けがをする恐れがあります。

体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が破損し、けがをする恐れがあります。

浴室内で使用するシャワーベンチ以外の用途で使用しないこと

子供を遊ばせたりしないこと

ベンチを浴槽の中など水の中に沈めて使用しないこと
パイプが腐食により破損したり、設置が不安定となり、けがの原因になります。



脚ゴム（ゴムキャップ）が外れたまま使用しないこと

転倒し、けがの原因になります。また、床に傷が付く原因になります。

回転ロックレバーに無理な力を加えたり、身体を支えたりしないこと



回転ロックレバーが破損し、転倒やけがの原因になります。

塩ビ製フロアマット（床）の上に長期間放置しないこと

フロアマットや脚ゴム（ゴムキャップ）が劣化及び変色する恐れがあります。

戸外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと

劣化および変色の原因になります。

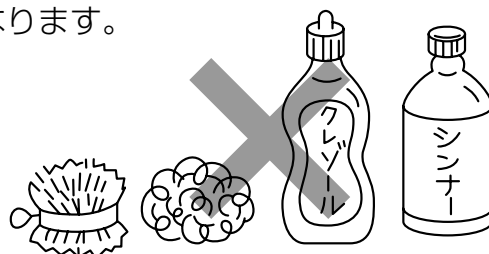
ストーブなどの火気に近づけないこと
火災や変形、変色の原因になります。

塩素系薬剤をかけての殺菌・消毒及び温泉水や硫黄系の入浴剤をかけての使用は行わないこと

パイプが腐食により破損し、けがの原因になります。

お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと

製品が劣化または破損し、けがの原因になります。

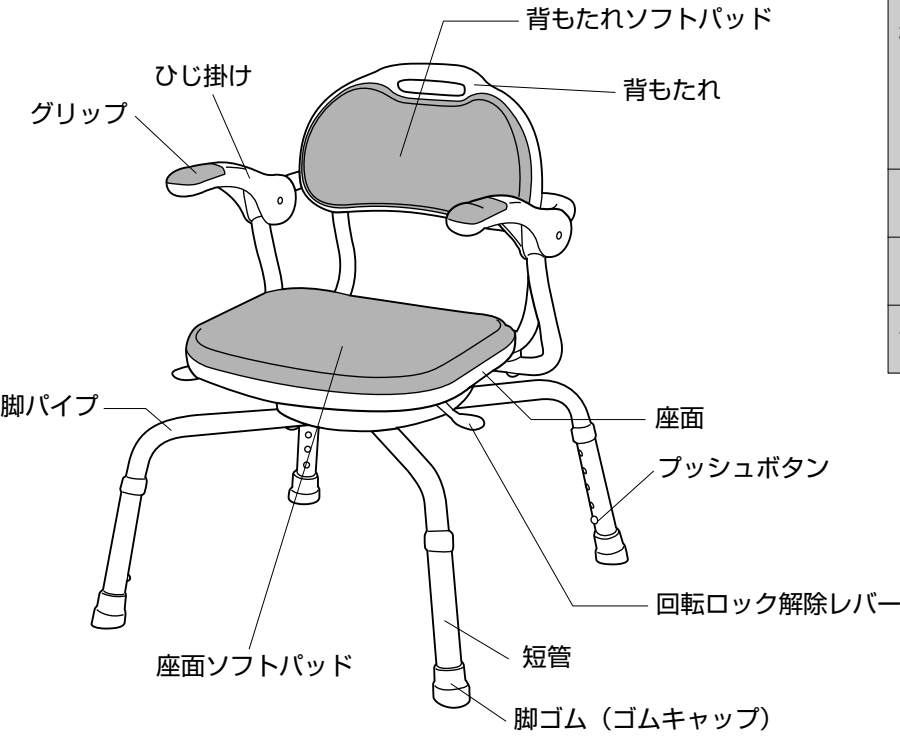


各部のなまえ

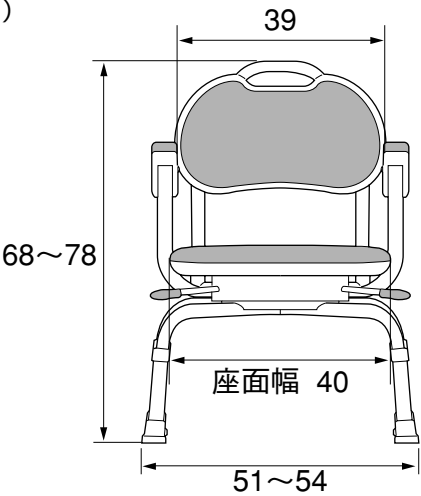
ひじ掛け付シャワーベンチ まわるくん

仕様

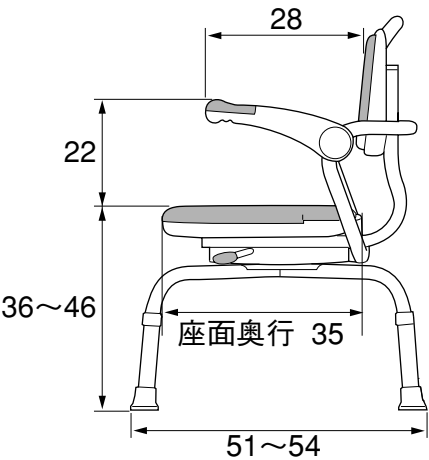
| 構成部材 | 部品名 | 材質 |
|---------|--------------------|----------|
| | 座面、背もたれ | ポリエチレン |
| | ひじ掛け | ポリプロピレン |
| | グリップ | エラストマー |
| | ソフトパッド | EVA |
| | 脚ゴム(ゴムキャップ) | 合成ゴム |
| | 金属部品 | ステンレス、黄銅 |
| | 脚パイプ、短管 | アルミニウム |
| サイズ | 幅51×奥行51×高さ68～78cm | |
| 重量 | 約6.3kg | |
| 座面までの高さ | 36～46cm（5段階） | |



■サイズ（単位cm）



正面



側面

使いかた

回転座面の使いかた

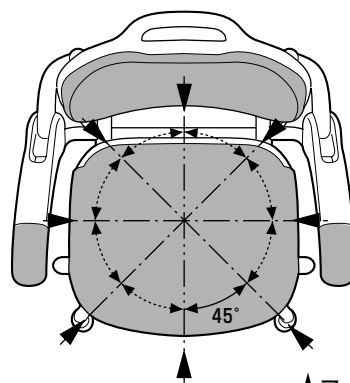
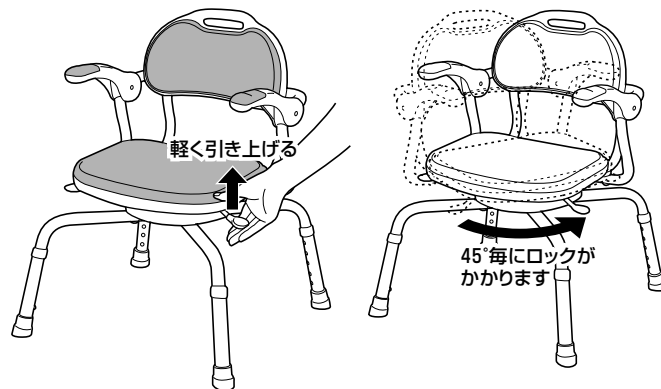
座面（背もたれ・ひじ掛け）は必要に応じて45°ずつ（合計360°）回転させることができます。介助入浴で立ち座りの補助や身体を洗う時などに便利に使えます。

座面を回転させる

①座面側方の前側（左・右）にあるロック解除レバーのどちらか一方を下から上に軽く引き上げると、ロックが解除され、目的の方向へ座面を回転させることができます。

②回転の途中でロック解除レバーから手を放すと、45°の位置で再びロックがかかります。
※さらに回転させたい場合は、①の手順を繰り返して行ってください。

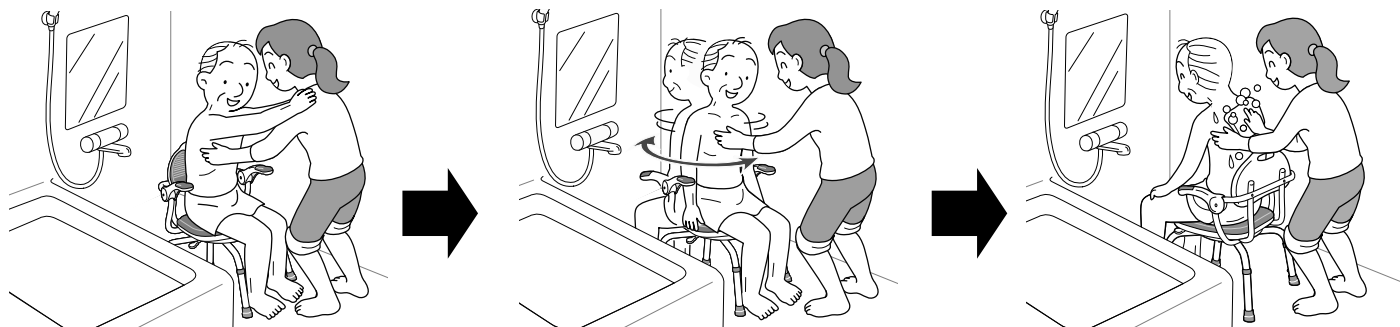
③回転後、座面がしっかりロックされ、回転しないことを確認してから使用してください。



注意 立ち座り動作の前や着座中（回転を目的とする時以外）に、回転ロックが確実にかかっているか確認すること。座面が回転し、転倒やけがの原因になります。

ひじ掛け付シャワーベンチ まわるくんを使用した介助例

狭い浴室内で介助入浴を行う時、使用者と介助者に無理な姿勢による腰への負担や転倒の危険を伴う場合があります。座面を回転させることで、常に介助者の正面で立ち座り介助が行えるので、楽に安心して介助が行えます。



浴室の出入り口方向にシャワーベンチを向けることで、移動距離を短縮でき、さらに正面から立ち座り介助が行えます。

使用者の足を支えながら、身体を洗しやすい位置に座面を回転させます。（ひじ掛け・背もたれも同時に回転するので、着座姿勢が安定した状態で回転することができます。）

使いかた

ひじ掛けの使いかた

左右のひじ掛けは、必要に応じて上下に可動させることができます。

- ひじ掛けを下ろした状態
立ち座り時に使用者の身体を支えたり、着座時の安定を保つために使用します。



- ひじ掛けを跳ね上げた状態
ひじ掛けを跳ね上げると、身体を洗ったり、狭いスペースでの介助に便利です。



片側のひじ掛けに手をつく場合、横方向に力をかけて支えたり、体重をかけすぎたりしないこと
転倒し、けがの原因になります。



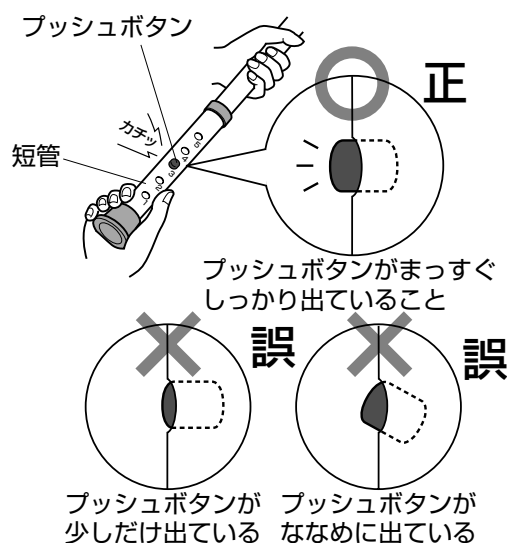
ひじ掛けを上げ下げする時に、手や指をはさまないように十分注意すること
けがをする恐れがあります。

座面の高さ調節

調節は、脚部にあるプッシュボタンを押しながら短管を上下に動かし、設定したい高さの穴に合わせてください。プッシュボタンが短管の穴から確実に飛び出せばセット完了です。

※高さ調節の目安（高さ表示番号と座面高さ）

| 高さ表示番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--------|------|--------|------|--------|------|
| 座面高さ | 36cm | 38.5cm | 41cm | 43.5cm | 46cm |



4本の脚部は全て同じ高さに設定すること
高さ調節用のプッシュボタンが確実に飛び出して固定されているか必ず確認すること
本体が不安定となり、転倒し、けがの原因になります。

※長期間使用していると、高さ調節用のプッシュボタンのまわりに石鹸などが付着し動かなくなることがありますので、定期的に汚れを落とし、プッシュボタンが作動するか確認してください。

お手入れの方法

ソフトパッドの着脱方法

座面・背もたれソフトパッドの取り外し

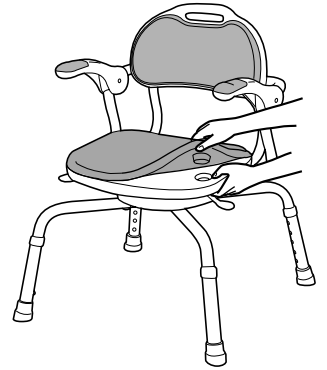
座面・背もたれの裏面からソフトパッドを押すと、取り外すことができます。

座面・背もたれソフトパッドの取り付け

ソフトパッド裏面の凸部をそれぞれ座面・背もたれの穴に合わせ、上からしっかり押さえるだけで取り付けることができます。



ソフトパッドがしっかり固定されているか確認すること
転倒し、けがの原因になります。



本体及びソフトパッドの洗浄方法

中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布に含ませ汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。



タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
製品が劣化または破損し、けがの原因になります。

座面・背もたれソフトパッド、脚ゴム（ゴムキャップ）は消耗品ですので、汚れたり、破損した場合はお買い求めになった販売店にお問い合わせの上、ご購入ください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル ☎0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階 TEL (03) 5420-1556

FAX (03) 5420-7750

東京営業グループ ☎(03)5420-1562

仙台支店 ☎(022)291-5477

大阪支店 ☎(06)6448-5127

広島支店 ☎(082)245-7100

名古屋支店 ☎(052)203-0396

札幌営業所 ☎(011)709-6011

福岡支店 ☎(092)741-1411